



2013年2月20日

報道関係者各位

大阪市淀川区新北野1-2-3
株式会社高松コンストラクショングループ
専務取締役 北村 明
(証券コード 1762 東証・大証第一部)

(問合せ先) 管理本部 花田和也
TEL: 090-6751-8040

URL: <http://www.takamatsu-cg.co.jp>

鉄筋コンクリート外壁の防湿構法で特許を取得

1. 従来の断熱工法

弊社は、鉄筋コンクリート造（RC造）の建築物における、結露防止構法で特許を取得しました。

従来の一般的なコンクリート造（RC造）の建築物では、施工が比較的簡単な内側に断熱材を取付ける内断熱工法が多く採用されています。

この構法の考え方は、外壁面の室内側に断熱材を吹付けることにより、室内の高温多湿の空気を低温の外壁に接しさせないことにより、結露を防止しようとするものですが、断熱材と外壁の接する面ではその防止が困難でした。

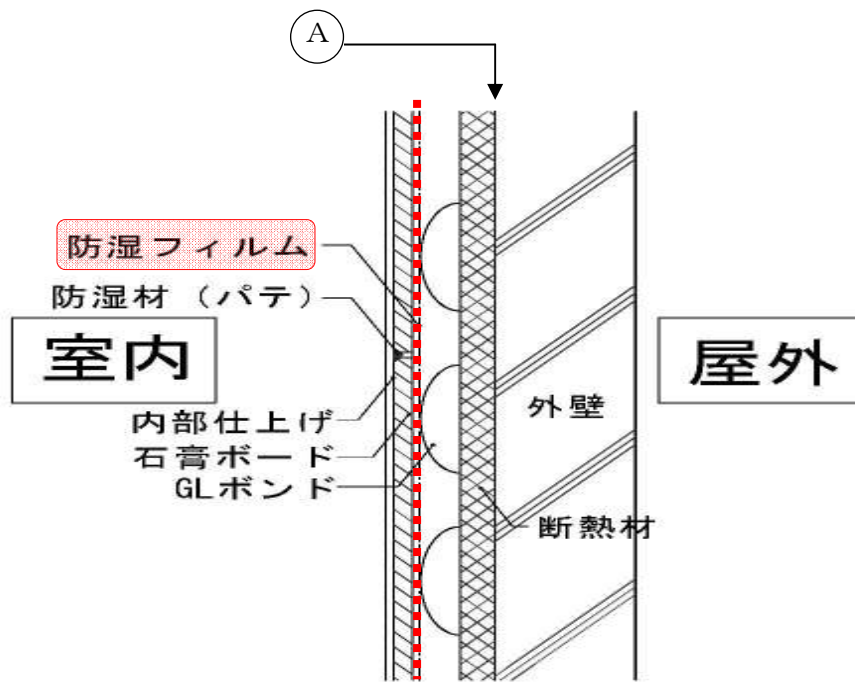
2. 新断熱工法（断面図）

今回の特許取得構法では、従来の構法に加え、石膏ボードの内面に防湿フィルムを貼着し、端部を折り曲げることにより各石膏ボードを密着させ、室内側の湿気を低温の外壁側に移動させないことで、断熱材と外壁の接する面(Ⓐ部)のより高度な結露防止を図ろうとする構法です。

3. 今後の見通し

本工法による鉄筋コンクリート造（RC造）の外壁の防湿構造は、外壁の内面における結露やカビをハイレベルで防止したい建物、例えば住宅、美術館などに利用でき、更に用途は広がると考えています。

今後、設計の与条件を満たせば採用していく方針です。



断面図